

年の初めに自分を見つめなおし、その先にある感性を磨く！ 感覚はずむ暗闇エンターテイメント「対話のある家」 毎年好評の新春プログラム「真っ暗の中の書初め」開催

積水ハウス株式会社とダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン（本社：東京都港区、代表：志村真介）は、「住ムフムラボ」（グランフロント大阪）にて、暗闇のエンターテイメント「対話のある家」第33回プログラムを2021年1月7日（木）から1月25日（月）まで開催します。

開催に先立ち、12月17日（木）正午よりWEBでのチケット先行販売を開始します。

- “純度 100%の暗闇”の中で自分自身と「対話」し、新しい年を思い描く。
- 真っ暗な中でフィジカル・ディスタンスを保ちながら、視覚以外を刺激するプログラム
- コロナ禍を経て、だから今、自分の在り方、人と人との「つながり」を見つめなおす



ダイアログ・イン・ザ・ダーク（以下、DID）は、視覚障がい者の案内により、完全に光を遮断した“純度 100%の暗闇”の中で、視覚以外の様々な感覚やコミュニケーションを楽しむソーシャル・エンターテイメントです。これまで世界 50 カ国以上で開催され、日本では 22 万人以上の人々が体験しています。

お問合せ先 積水ハウス株式会社 広報部 大阪: 06-6440-3021 東京: 03-5575-1740
大阪市北区大淀中 1-1-88 梅田スカイビル タワーイースト

「真っ暗の中の書初め」プログラム

今回の「真っ暗の中の書初め」は暗闇の中で自分自身と向き合い、新年に臨む気持ちを書初めするプログラムです。その他にも、お正月ならではの遊びを、音、匂い、手触りで楽しんでいただけます。また、暗闇の中でも安全にご体験いただけるよう、2mの身体的距離（フィジカル・ディスタンス）を確保しながらプログラムを進行します。

体験者の声 ※昨年度「真っ暗の中の書初め」プログラム体験者



はじめてこのイベントに参加しましたが、とても不思議な体験でした。このイベントを通して仲間との信頼関係の大切さや普段出会わない自分と出会う大切さがわかりました。（20代男性）

暗闇体験だけでなく、ゆっくりと自己や他者と向き合う体験ができました。視覚的な情報にとらわれず、ゆっくりとアテンドの方や友人との会話に集中することができました。（20代女性）

ダイアログ・イン・ザ・ダーク「対話のある家」

第33回「真っ暗の中の書初め」概要

- 開催場所 : グランフロント大阪 北館ナレッジキャピタル4階（大阪市北区大深町3番1号）
積水ハウス「SUMUFUMULAB（住ムフムラボ）」
- 開催期間 : 2021年1月7日(木)～1月25日(月)
- 開催時間 : 1日3回開催 11:30～12:40、13:30～14:40、15:30～16:40
※毎週土曜日と1月10日(日)のみ17:30～18:40を追加した1日4回開催
- 所要時間 : 70分程度
- 参加人数 : 各回4名様（先着順・予約制）
- 参加対象 : 小学生以上
- 参加料金 : 大人3,500円／学生2,500円／小学生1,500円（税込）
- チケット発売 : 12月17日（木）正午～
- 定休日 : 火曜日・水曜日
- 申込方法 : 予約状況確認・申込はWEBから <http://www.sumufumulab.jp/did/>
- 「対話のある家」お問い合わせ事務局 : 0120-39-9683（11:00～18:00 ※土日祝日除く）

積水ハウスとD I Dの共創プログラム「対話のある家」について



見て触れて楽しめる
DID「対話のある家」の展示コーナー

積水ハウスは「生涯住宅」の思想のもと、長年にわたり「スマートユニバーサルデザイン」などの研究活動を続けてきました。その一環として、「感じる力」「関係性の回復」「多様性を認める」を目的に、対話する場を提供し続ける DID との共創プログラム「対話のある家」を実施。「純度100%の暗闇」の中で、住まいにおける様々な生活シーンを体験し、日常では得られない気づきやコミュニケーション向上の機会を広く提供します。さらに、“「わが家」を世界一幸せな場所にする”というビジョンを実現するために、住まいの快適性を深化させる研究にも活かしてまいります。